

2025 年 7 月 15 日
東日本旅客鉄道株式会社

鉄道分野の特定技能人材育成が本格ステージへ

～オープンな教育プラットフォームとして、特定技能人材育成研修が始動します～

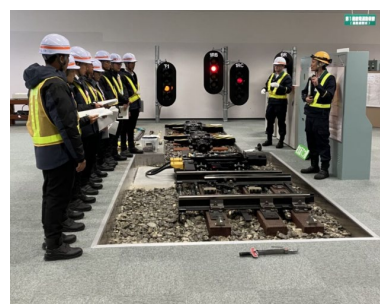
- JR 東日本では、2025 年 2 月から 3 月にかけて海外から招聘した人材を対象に「特定技能人材育成研修」を試行的に実施し、研修生 25 名のうち 24 名が鉄道分野の特定技能 1 号評価試験に合格しました。今年度から、本研修の受講者を年間 100 名規模に拡大し、JR 東日本以外の鉄道事業者等も参画可能な教育プラットフォームとして募集を開始します。本研修の実現を踏まえ、鉄道分野の特定技能 2 号への追加を目指し、特定技能人材が活躍する環境を整えていきます。
- さらに、JR 東日本では、「勇翔 2034」の実現に向けて、本研修をはじめ、JR 東日本グループ及び鉄道業界の未来を創造していく総合的な人材育成プログラムを展開していきます。そのための学びの場として、JR 東日本総合研修センター敷地内に新研修棟を建設します。

1. 特定技能人材育成研修について

(1) 概要

JR 東日本グループは鉄道業界全体のサステナブルな事業運営に貢献するため、2025 年 2 月から 3 月にかけて試行的に実施した特定技能人材育成研修を本年度 100 名規模で本格始動させるとともに、この研修プログラムの門戸を広く JR 東日本以外の鉄道事業者に開きます。

なお、本年 6 月 26 日、JR 東日本において技能実習生として就労していた人材から鉄道事業者初の特定技能人材 3 名が誕生しました。

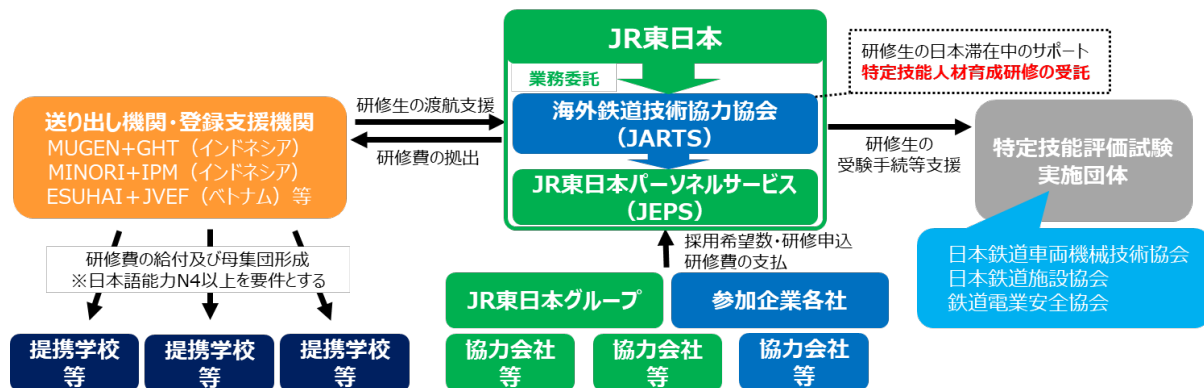


本年 2 月～3 月に実施した特定技能人材育成研修の様子

(2) 運営体制、就労までの流れ

JR 東日本が実施主体となり、研修全体のコーディネートや研修生の受入れ、研修生の日本滞在中のサポート、研修生の受験手続支援等を担う（一社）海外鉄道技術協力協会（JARTS）、研修講師等を担う（株）JR 東日本パーソナルサービス（JEPS）、研修生の母集団形成を担う送り出し

機関や登録支援機関など、様々な機関と連携して研修を運営します。



研修生は研修受講前に、JR 東日本をはじめ参加企業各社から特定技能 1 号評価試験合格後の雇用契約締結に向けた内定を取得します。そして試験に合格し、内定している会社と雇用契約締結後、在留資格「特定技能」を取得し、車両・軌道・電気設備のメンテナンス業務に従事することになります。



(3) 実施概要

① 実施場所

JR 東日本総合研修センター（福島県白河市）

② 対象区分及び募集予定人数

＜車両整備区分＞ 約 20 名

＜軌道整備区分＞ 約 40 名

＜電気設備整備区分＞ 約 40 名

③ スケジュール（予定）

＜車両整備区分＞ 研修：2026 年 2 月 23 日～3 月 22 日 評価試験：3 月下旬頃

＜軌道整備区分＞ 研修：2026 年 2 月 27 日～3 月 26 日 評価試験：3 月 27 日

＜電気設備整備区分＞ 研修：2026 年 2 月 16 日～3 月 15 日 評価試験：3 月 16 日

④ 申込方法・募集期間

鉄道事業者が、自社グループ及びパートナー会社、協力会社等の採用希望を取りまとめの上、本研修に係る業務を当社より受託する JARTS へ申込みを基本としますが、自社直轄で事業運営を行っている鉄道事業者や、協力会社等からも申込み可能です。詳細については、JARTS 外国人材業務部（電話：03-5684-3179、E-mail：gaikokujinzai@jarts.or.jp）へお問い合わせください。

＜第 1 次募集期間＞：2025 年 7 月 16 日～8 月 7 日

（予定募集人員を超える申込をいただいた場合、参加人数の調整をお願いする場合がございます）

＜第 2 次募集期間＞：2025 年 8 月 20 日～8 月 29 日

（先着順。なお、第 1 次募集で予定募集人員を上回った場合、第 2 次募集は行いません）

⑤ 研修参加費用

研修受講者一人あたり 30 万円（税別）

本研修受講に伴う日本への渡航費（往復）、短期滞在ビザ申請費、日本国内移動のための交通費、研修受講費、教材費、宿泊費、食費、特定技能 1 号評価試験受験料を含みます。

2. 新たな学びの場の建設について

（1）新研修棟の計画概要

特定技能人材育成研修を含む未来創造型総合人材育成の学びの場として、2027 年度中（予定）の完成を目指し、JR 東日本総合研修センター敷地内に新研修棟の建設を計画しています。新研修棟をこの象徴と位置づけ、最新技術と高い環境性能を備えた最大 100 名の宿泊研修が可能な建物とする計画です。具体的な内容がまとまりましたら、別途公表する予定です。



JR 東日本総合研修センター

（2）未来創造型総合人材育成プログラム（※）について

※グループ経営ビジョン「勇翔 2034」の「LX（ライフスタイル・トランスフォーメーション）を実現するための中長期施策」のひとつに掲げている新人材育成プログラム。

JR 東日本グループが積み重ねてきた技術・技能や人材育成の力を活かし、加速度的な経営環境の変化に対応し、グループのサステナブルな成長を実現するとともに、広く鉄道業界全体の技術者確保等に貢献するプログラムです。特定技能人材育成研修に加え、鉄道技術者育成と次世代リーダー育成の 3 つのプログラムを検討しています。①及び②は JR 東日本グループ以外の他の鉄道事業者からの受講を可能とします。

- ① 特定技能人材育成：鉄道業界の特定技能人材の安定確保に向けた基礎技術教育
- ② 鉄道技術者育成：主として過去に専門的技術教育を受けていない人材を対象とした、技術分野の初期教育を通じた鉄道技術者の育成
- ③ 次世代リーダー育成：JR 東日本グループにおける次代の経営リーダーの育成

【別紙 1】＜特定技能人材育成研修トライアル（2025 年 2 月～3 月）の概況＞

- ・ インドネシアとベトナムから 25 名の研修生を日本に招聘し、区分毎に 4 週間の研修を実施しました。
- ・ 研修修了者 25 名のうち 24 名が 3 月に行われた特定技能評価試験に合格しました。
- ・ 車両整備区分の合格者 5 名については JR 東日本と雇用契約を締結し、8 月頃に来日して JR 東日本に入社、東京総合車両センターに配属する予定です。
- ・ 軌道整備区分の合格者 11 名、電気設備整備区分の合格者 8 名については、それぞれ JR 東日本の協力会社等と雇用契約を締結し、8 月頃に来日し、各社に入社する予定です。



トライアル研修の研修生の皆さん

【別紙2】＜鉄道事業者初の特定技能人材誕生について＞

（1）対象者

- ・ 2025年6月26日、JR東日本にて鉄道事業者初の特定技能人材3名が誕生しました。彼らはいずれも「JR東日本 Technical Intern Training」で来日したベトナム国籍の男性です。
- ・ 彼らは2022年6月26日に来日し、同年8月1日にJR東日本入社、大宮総合車両センターにて冷凍空気調和機器施工職種で3年間の技能実習に従事し、良好に修了しました。
- ・ 技能実習中は必須作業として鉄道車両の冷房装置のメンテナンス業務に、関連作業として鉄道車両の台車・輪軸のメンテナンス業務等に従事しました。
- ・ 2025年3月15日に行われた特定技能1号評価試験（車両整備区分）に合格し、6月26日に在留資格を「特定技能」へと切り替え、鉄道分野の特定技能人材として就労可能になりました。

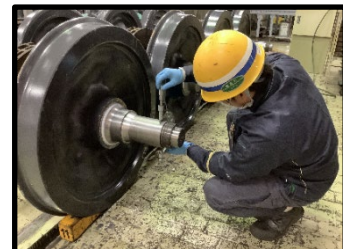
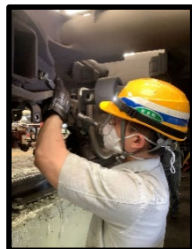
（2）配属箇所

大宮総合車両センター

（3）「JR東日本 Technical Intern Training」の実施状況

- ・ JR東日本ではこれまで「冷凍空気調和機器施工」「鉄道施設保守整備」「鉄道車両整備」の各職種にて、累計38名の技能実習生を受け入れてきました。
- ・ 3年間の技能実習を修了した実習生のうち、本人意向と会社意向が合致した場合は、今後も同様に特定技能に移行して継続就労を可能とするべく、実習生の長期キャリアプランに伴走していきます。

1～3年目：JR東日本 Technical Intern Training ⇒ 4年目以降：特定技能1号
(在留資格は技能実習)



特定技能人材3名の技能実習中の様子（左から台車組立作業、台車枠排障器取付作業、輪軸測定作業）

「JR東日本 Technical Intern Training」の実施状況一覧

	1期生(11名)	2期生(2名)	3期生(6名)	4期生(3名)	5期生(6名)	6期生(6名)	7期生(4名)
職種	冷凍空気 調和機器施工	冷凍空気 調和機器施工	冷凍空気 調和機器施工	鉄道施設 保守整備	鉄道車両整備	鉄道車両整備	鉄道車両整備
出身国	ベトナム	ベトナム	ベトナム	ベトナム	タイ	インドネシア	ベトナム
入国日	2019.3.31	2022.5.13	2022.6.26	2022.12.26	2024.2.29	2024.7.31	2024.8.30
実施箇所	【共同実施】 大宮総合車両 センター JRTM(株)	【共同実施】 郡山総合車両 センター JRTM(株)	【共同実施】 大宮総合車両 センター JRTM(株)	【共同実施】 金町保線技術 センター (株)日総建	【単独実施】 大宮総合車両 センター	【単独実施】 東京総合車両 センター	【単独実施】 郡山総合車両 センター

※JRTM：JR東日本テクノロジー株式会社（当社の連結子会社）

【参考】＜関連するこれまでのプレス＞

◆「JR 東日本 Technical Intern Training」を始動します！ ～アジアを中心とした国際鉄道人材の育成について～ [2019 年 2 月 5 日]

<https://www.jreast.co.jp/press/2018/20190201.pdf>

◆「JR 東日本 Technical Intern Training」実習分野を拡大します！ ～保線分野（鉄道線路のメンテナンス）での技能実習を開始～ [2022 年 12 月 12 日]

https://www.jreast.co.jp/press/2022/20221212_ho01.pdf

◆外国人技能実習生 タイから鉄道車両整備職種で初の受入れ ～「JR 東日本 Technical Intern Training」の拡大～ [2024 年 2 月 6 日]

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240206_ho01.pdf

◆JR 東日本の技能実習生にインドネシア、ベトナムから新たな仲間が加わります ～JR 東日本 Technical Intern Training 3 カ国に拡大～ [2024 年 6 月 27 日]

https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240627_ho01.pdf

◆外国人特定技能人材の育成で鉄道をサステナブルに ～鉄道分野で就労する特定技能人材を育成する研修を実施します～ [2025 年 2 月 4 日]

https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250204_ho01.pdf